

相談ネットワーク通信

No.37

2000.7.27(木)

子育て・教育なんでも相談ネット7-7 岡山市丸の内1-5-13 TEL(086)226-0110

盛会だった出版記念会 難波一夫著『心と包帯をまいて』

南雲 千代子

四月二十三日、まぎび会館において百二十五名もの出席者により、熱気と感動の三時間の出版記念会でした。

福渡高校の教之子の前先生の開会のあいさつに始まり、教育会の長老、九十才の長谷川先生による乾杯、相談室設立に大きな力となった高校教職員組合の委員長、田中先生のお言葉、そして、今この時代だからこそ、みんなに読んでほしいという声に押され、出版のはこびになったいきさつが、ネットワーク十年の歩みと

ともに報告されました。

なつかしい歌「たんぼの歌、若者たち」に声をあわせ、即席とは思えない「あかどんぼ」の合唱に聞き惚れ、かつて戦後の教育界で難波先生とともに過ごした先生方の

お話はつきることなく、つぎつぎマイクが手渡されていきました。たくさん教之子の方々のエピソードは、「愛して・信じて・待つ」を信条とされる難波先生の若き頃、出席者に彷彿とさせるものでした。ネットワークに相談にこられたお母さん

んの親子で

つらい日々

をこえてき

た語に涙を

誘われ、長

年の友人か

らは、みん

なが難波先生に引き寄せ

られるのはひとえに先生

が、ゆんどりのごとく

暖かく包み込んでしまう

からだの例えに、一回

爆笑しながらも、うなず

いてしまいました。

会場はお祝いの花で華

やかに飾られ、心からお

祝いしようと思っただけ

さったみなさんと、終始

なごやかな笑いで包まれ

ていました。

最後にいただいた花束

を奥様にプレゼントされ

たのに、一段と大きなお

手がわきまがりました。

(なぐも ちんこ)





みはさんごんにちは、相
談ネットワークの卒業式で、「相談ネットワークの卒業式で相」たします。主催者代表の
チヨウカンゲキしています

安東 誠

『心に包帯をまいて』のびるまで

——出版記念会での開会あいさつ——

難波一夫著

四月二十三日、福山市のまきび会館で開かれた、難波一夫先生の著書『心に包帯をまいて』の出版記念会には、百二十名を超えるみなさんのお祝いに際

けつけてくださった皆さま、お集まりの皆様、御礼申し上げます。本書では、その出版記念会の記録を掲載しました。

「相談ネットワーク」の卒業式で、「相談ネットワークの卒業式で相」たします。主催者代表のチヨウカンゲキしています。難波一夫先生の著書『心に包帯をまいて』の出版記念会に、「このように沢山の皆さんにおいでいただきまして大感激であります。子どもたちは「チヨウイン」「チヨウムカ」といいます。私たちが今日「チヨウカンゲキ」であります。ありがとうございます。お花がさわさわや、県内の各地から、県外からもわざわざお集り

ます。本当にありがとうございます。先日、十六日だったと思うんですけど、四國の高知市のお母さんから電話がありました。難波さんが対応しているのを私とほで聞いています。これは『心に包帯をまいて』の注文がなと思つてたんですね。ところが「相談ネットワーク」にぜひ入会させてほしい」といってお話だったんです。聞きますと『心に包帯をまいて』を読んで感動して、ぜひ会に入会したいというお話だったんですね。想像しますのに、このお母さん、お子さんのためにいろいろしんどい思いをなさっているのではないかと

感じます。あわせて、相談ネットワークにたいして「理解・ご支援にこの席を借りまして、心よりお礼申し上げます。」

とじて、この本を読んでくださつて、励まされ、心も癒され、感動して、ぜひ難波さんがいる「相談ネットワーク」なら入らせていただきます」というお気持ちで申し込んでくださったというふうに感じています。この『心に包帯をまいて』は、この大きな横断幕に掲げてありますように、相談ネットワーク十周年を記念いたしましたので出版させていただきます。

相談ネットワークは「存じ」思ひますけれど、「一九九〇年八月にスタートいたしました。したがって今年の八月で十周年を迎える二

(30ページのつづき)

人間愛にあふれた子育て本

そういう難波さんの活動

の中から生まれた貴重な体験、そして、その体験からくるすばらしい見識・理論をぜひ一冊の本にまとめてほしいが、あちこちから強い要望として私どもに届いておりました。私どももなんと難波さんの本を世に贈りたいということもできたのでありますけれども、手い、相談ネットワークの仲間におります。幸々さんが「新田山書房」をやっておられまして、全国的に名の知れた「大月書店」で取引が盛んです。そこに難波さんの活動を盛り込みまして、編集長もその研究や活動の中心に感じまして、ぜひのうちから本を出したいというところになりました。それは一昨年の七月ごろに思っ

です。

それ以来、先程からいりましたような猛烈な忙しさの中、執筆活動が始まったわけですし、体調も壊されるところのところもありまして、大変だったわけですが、それは並大抵の努力ではなかったと思います。それをやり遂げられました。『心』に収録されている『出版』になったわけです。



「心に真さんが出版が盛んですが、これは大変です。」

んの支えがなかったら成し得なかったことだと私は思っています。どうかみなさん拍手でねぎらっていただきたいと思っんですがいかがでしょうか。(大きな拍手)

先日、これまた電話には

るんですけれども、瀬戸内海の小さな島のおばあちゃんか電話をかけてこられて、お孫さんがお島の離れドームの近くに住んでおられて、おばあちゃんの方にこう来たときには、本当に元気で明るいですよ、と喜んでおられます。近所の人も「いい子だ、いい子だ」といって下さる。ところが学校になかなか行けない、というところなんです。おばあちゃんはその心が心配でならぬわけですから、そして、自分の娘さんが「そのお孫さんのお母さんなわけですが、一娘にせむ難波さんの本を讀ま

せたいので、送ってほしい」ということがありました。さうぞう送っていただいたのですが、そのように、あちこちで難波さんのこの本に對しては反響が広がっておりました。大変ありがたいことだと思っております。大月書店からも「子育ての本はいっぱい出るけれど

相談ネットワーク通信復刻版もぜひ

なお、受付の所にも置いておりましたが、『相談ネットワーク通信』十年間の足跡』という本、これは私たちの仲間、奥田さんが中心になって作った手づくりの本であります。『ネットフ

ひこれもの買い上げたいと思っております。ありがとうございます。本日はお忙しいなか本当にありがとうございます。司会が申しましたように、ゆっくりと復刻版をいただきたいと思っております。大変長くなりましたが、以上をもちまして、ご挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございます。

(相談ネットワーク)

あんどろ まこと

とになります。
 豊後さんにはお世話になりました。だいてのります。豊後さん、日野田さんをはじめ大勢の方々の力を添え、そして

「心」がこころの声を届けて

豊後さん、日野田さん、そして、今日まで十年間、一貫して献身的に仕事をなさってこられました。

念がかりたくなりました。大塚さん、内田さん、そして、豊後さんが中心になって設立した会であります。

豊後さんのことについて書いては、さきほど回会からものべましたように、あどでいうん方から、いろんなお話を聞かせただけです。私は一つだけ連絡を交わしていることをお話しさせていただきます。思いです。

一緒に仕事をしています。子どもの事についてながることなら、どんな努力もいとわないうお気持ち。しかも、『星の王子さま』の中の言葉を彼がよく引くんですが、それは、「見えないうもの大切さ」、「つまみ」肝心のものは見えないうんを「心」に見えないと物

事は見えないうんを「心」の意味の言葉、右左な言葉があります。つまり、子どもの心のを受けとめてやることの大切さを、この相談活動の中を聞いてもられる。子どもにたいして本当は深い愛情で仕事をなしている姿、そして、あかさんやお母さん方の心づき深く汲み取って、なんどかしてかにならうという真摯な姿、私は本当に感服しています。

そんな活動が十年、それをそれだけではありせん。電話での相談、面談での相談の他に、保育所から高校までのPTA・教職員の研修、中には高校生対象の講演、そして、いろいろな相談会・集会での講師・助言などに東奔西走していただけてあります。それだけではありせん、なかには小児科の先生方の集ま



りでの講演もありました。さらに山陽新聞をはじめ、その他の様々な出版物で可する執筆活動、テレビ・ラジオへの出演、本誌にはほ

から思っても、これで体もつんだらうかという、忙しい毎日を送ってくださいます。

（4ページにつづく）

難波一夫著

『心に包帯をまいて』を読んで

—出版記念会での挨拶のしよば—

林精神医学研究所 理事長

南 雲 與志郎

出版のいきさつ

思い出しますと確か十年
前、難波先生や八木原先生、
その他の先生方がちょうど
退官されたという時期で、
何かしようというところで、
ネットワークを立ち上げた
わけですが、その時、世話

人に加わりました。

先ほど安東先生から出版
企画は「昨年の七月」とい
う時期を示されましたが、
十周年記念に何かやろう、
本を出そうかという話で合
合を拝ったことが、今思い

出されます。本もいりけれ

この本のユニークで貴重な特徴

出来上がった『心に包帯
をまいて』なんですけれども、
わたしも読ませていただきました。
非常にユニークな
特徴があると思います。そ
れは、初めからおしまいま
で、肩肘張った、理屈っぽ
いことは、ほとんど言われ
ない。エピソードの積み上
げのなかで、この問題に、
大きな問題を感じてくださ
ければ、その問題にアプロ
ーチされて本質にせまる。
この本は、本当にユニーク
な本という気がします。

ど、なかなか面倒ななど。
その時に、守安先生から大
月書店の話もありまして、
結果としては、結局、難波
先生にすっかりお預けして
しまった、倉垣をお掛けし
たということになってしま
いました。

先ほど、いろんな引き合い
があったという話も、うな
かける思いがします。

子どもたちを

「愛して、信じて、待つこと」

題名になった園長先生の

話もなることながら、「お母
さんに抱っこしてもらおう」
という小学校三年生の宿
題、これも私も非常に感心
いたしました。それから某
校の中学生が三人、学校が
らほみ出て、保育園に日参
するという話。それを受け

一言でいうと、読んでフ

ワツと心が暖かくなるとい
う感じがするんです。いろ
んな本がこたえいまして、今
の教育の問題というのは、
煎じつめれば「社会病理」
という側面があつて、整理
しにくい。理屈っぽくて、
いくらでも本は出てくるわけ
ですが、このように現場で
体験されたエピソードを重
ねながら問題の中心に迫っ
ていくというやり方は、非
常に貴重ななと思います。

とめを園長先生の話。

私、本の帯にありますケ
れども、「愛して、信じて、
待つ」というそのスローガ
ンです。これ、これはもう難
波先生がずっと一貫して言
われているし、ある意味で
親の立場、あるいは先生方
(6ページにつづく)



出版記念会

スナップ

お祝いのことばを
送る前津夫さん
(難波先生の教子)



会で花田さん
可憐な花田さん
を盛り上げた
お祝い



すばらしいハーモニーを贈らせてくれた
出版記念合唱団 (急遽その朝で結成)



盛り上げた
お祝い
参加者から
お祝い
メッセージ
をいただきました



贈呈された花束を奥様に
プレゼントする難波さん



心に包帯をまいて
を朗読する金田さん



お祝いに戴いた花束

亡くなられた八木原先生、内田先生をはじめ、いろいろと体面を助される、私も年々二ろになりますとどうやらそういう巡り合わせらしくて、私の友達なんかもういろいろと不調だという噂が舞い込んできます。私自身、去年ちよつと病気に

これからお元気で

「愛される」こと、「待たれる」こと、そのことが、子どもが本当に成長していくうえで一番必要な基盤というが、土壤というが、

(5ページのつづき)

の立場に共通した、基本的な構えだと思っただけだけれども、実はしかし、このことは考えてみると、子どもたちにとって一番大事なことはなんだと思います。子どもが成長する上で一番必要なのは、安心感です。つまり、「信じられる」こと、「愛される」こと、「待たれる」こと、そのことが、子どもが本当に成長して

ましたが、難波先生、今後、本当に体をいじわられて、今のお仕事を引き継いで元気にやっていたら、どうにもお願いいたします。どうも、おめでとつづきいしました。
(相談ネットワーク世話人 なくも よしろう)

そういうもので、それが舞かざれているという現在の社会というものが、いかに歪んでいるかということに本当に驚かされます。そういう意味では、この本の出版というものは、すっかり難波先生に「苦労をお掛けしましたけれども、結果としては本当によかったなあ」と、ネットワークにかかわった一人として、本当に共感したいし、難波先生にねぎらひの言葉をさしあげたいと思っております。

明日に希望をもって

— 著者のことば —

難波一夫

結婚式以来の華やかな場所で

今日はほんとうにありがとう
 とうございしました。こんな
 華やかなところへ立ちます
 のは、なんとなく照れ臭い
 といいますが……。結婚式
 以来というような感じもし
 ますし、それからまた、い

よいよ私も退職記念が、引
 退記念かなあとという思いも
 あったりしたのですが、皆
 さん方の励ましの言葉に支
 えられて、これから、も
 う一息がんばらんといいん
 なあ……。こういう思いでお



出 発 一夫 著「をまいて」

ります。

しかも、今日の賑わいを
 いろいろ拝見させていた

多くの方々にお世話になっています

さて、いろいろ申し上げ
 たいことがあるんですが、
 一つはこれから先「ネット
 ワーク」をどうするかとい
 う問題があります。一番い
 ま困っているのは、お金の
 問題です。私達は、この
 間に何等をまいて野をいっ
 かり普及して、そして、私
 の印税まで含めて、ネット
 ワークの力をつけるために
 使いたいと思っています。

今年来て岡山市や倉敷市の
 形勢組合、医療法協、高家

きますと、二十一世紀の岡
 山県知事になれる人や、
 あるいは、岡山市長になら
 れる方も来ていたというお
 りますし、そういう点で言
 いますと、私たちの今の思
 いがやがて通じる時が、そ
 う遠くない時期にくだらう
 うと確信しております。

駆け込み寺としての役割と大切さ

学校の報告、扶精神医療研
 究所等々、いろんなところ
 から、熱い、厚い援助をい
 ただきながら、やってきて
 いるわけですが、なにせ今

駆け込み寺としての役割と大切さ

のところが家賃が五万五千
 円。前は四万円だったんで
 すねえ。それで、ボランテ
 ィアに理解のあつた家主の
 前田君さんが亡くなられた
 ら、五万五千円に上がりま
 した。それでも苦しいなか
 で、きつくと毎月月初めに
 私うんですけれど、天井に
 は穴が開いて、そこから雨
 が漏る、そして、バケツを
 受けなければならん。どう
 して直してくれないのかな
 あ、という思いもありなが
 ら、でも、今のところで頑
 張っているわけです。

こんなお母さんちがっ
 しゃるわけですねえ。相談
 においでになつて、手をボ
 ソボソされてるので、「手
 をどうされたんですか」と
 聞いたら、「新聞でこの
 番号を見て、そして二二八

あわてて来たんだ」と、ま
 さに、＼あどがきぐのどこ
 ろにも書いたんですか、「駆け
 込み寺」のように飛び込
 んできてくださるお母さん
 や、それから子どもたちも
 (8) (P.17) (P.17)

(7ページをつづき)
あるわけですねえ。そう考
えてみると、いまの場所も
ええ場所だなぁ、ここで爆
発りたいなぁ、という思い

いまこそ「センター」を！

しかしその中で、推挙は
いで明日に希望をもって、
頑張りたいと思つてこの一
つは、なんどいってもしば
しばおぼえのいる「いろんな理
解のなか」にいろいろを事実
がみえます。その事実を切
りとって、その中から真実
をつかむというのは、ほん
とくに難しい。そのために

ももっともっと勉強せんじ
いけん。あるいは学習・研
究しないといけないというこ
とがあるのです。
いろんな所で、いろんな
形の個々の研究や学習や活
動というのがあります。い
ろんな所でみんな頑張つて
おられるのです。でも、そ

もあるんですけれど、だん
だん、だんだん手狭になつ
たり、財政的な問題もあつ
たりで困っています。

それが一つにまとまって「セ
ンター」のような役割をす
るような所があればさらに
よみにはなあと願います。

みんなが気楽に集まって 学んで、遊んで、元気のだせる そんな「センター」を！

ネットワークの電話通話手
を掛つて入つてきてくんだと
るお母さん、それから、い
じめにあつて学校の下駄箱
のところにまで行ったけれど、
教室に入れないという女子
高校生、その高校生がこの
間、嬉しいお札のそれに、
お母さんと一緒に来てください
さったんですね。いい顔

民生教育研究所を作つたら
というお話がちらちらあり
ますが、そういうところでも、
それこそ、子どもたちの居
場所ができたり、先生方の
居場所ができたりしたら、
本当にいいなぁ、という思
ひがあります。でも、なか
ながそこから一歩がまを出
てきていないんです。

「この本を広く普及するために」

一番最後になったんです
が、本の販売なんです。ね。
どうが、ぜひ、この本を今
日は、十冊なり、二十冊な
り、五十冊なり持つて帰っ
ていただきたい、なけていた
だく。そして、大月書房も
全国規模で頑張つてくださ
るの言つておられるのは、
私どももそれは呼応して、
頑張つていきたい。でも、
私たちのカビというのは、ほ
んとくに小さいものです。

ら、もっともっと、みんなの
人たちに広げたい。と、皆
さん方にもお願いしたい。お
きたいなあと願つてます。
今日の本場にありがとうございます
ございました。感謝どうも
これ以上物言ひはいたすほど深
くおぼえのするのでも、「二二」
「三三」にそれぞれに
ます。
ほんとうにありがとうございます
ございました。
(なんば かずか)





武田英夫のぶらり訪問

その10

「心に包帯をまいて」

出版記念会に出席して

「心に包帯をまいて」・・・あ
る保育園の園長先生が、子ども
の指のカットパンを交換しなが

らスキンシップすることで、傷
ついた幼い心を癒す話しのタイ
トルである。

この話しのタイトルをシンポ
ルのように「本」全体のタイトル
にした「心に包帯をまいて」は、
岡山県の「子育て・教育なんでも
相談ネットワーク」の代表世話
人の一人である難波一夫先生が、
「相談ネットワーク」の活動から
の思いや考えを書き綴ったもの
で、読む者の心が暖かい包帯で
包み込まれるような珠玉のエッ
セイ集といえる。

難波先生の信条は「愛して、信
じて、待つて」である。出版記念
会では、参加したお母さんたち
から「この言葉にどんなに励ま
されたかしれません」と涙なが
らの感謝のスピーチが続いた。

「愛して、信じて、待つて」は多
くの子どもと親を救った「法則
のように大事なもの」（難波一
夫）なのである。

率直にいつて私にはこの「法
則」は「言うは易く、行うは難し」
だった。出版会のスピーチでも
申し上げたが、私などはどうと
う「待つて」ことができず、子ども
の心に「包帯」どころか「針金」
をまいたこともしばしばだった。
しかし、子どもの心に針金を
まく大人の心は、もつと硬く冷
たいもので縛りつけられる。「相
談ネットワーク」はそんな親の
心にも「希望の包帯」をまいてく
れたのだった。

さて、この「心に包帯をま
いて」の出版と、先月号で紹介した
映画「あかね色の空を見たよ」
は、どちらも岡山県の自主的民
主的なネットワークが全国に発
信した話題作である。

岡山県は期せずして同時期
に、映画と本の両方で、今日の
教育問題の
解決方向を
全国に問
かけたので
ある。それ
は、自主的
民主的教育
運動の側に
よる「教育
県岡山の復
権」と言っ
ても決して
大げさでは
ない。

この記事は、県会議員 武田英夫さんの新聞
「武田英夫ニュース」No.66(2000/5)から
転載させていただきました。

前略 先田様拝見。ハイ、おめでたうござい
ました。出席できず、事
ども喜ばしく思ってい
ます。

大変、お涙な先住方の
集まりで悲しく思いまし
たが、とても充実した時
間を過ごして下さり、あつ
良かったと思っております。

たかに田様を見て嬉しく
れました。そんな母のそ
ばで、父は、ずっと私を見
守っていてくれました。
二人の面影のことも、言っ
られ、とても幸せに思っ
ています。

母親は笑顔が いちばん

萩野和恵

私の育った環境は、面
親のあたたかい愛に包ま
れて何の不安もなく安定
した生活の中でゆとり
と育ちてくれたように思
います。

しかし、昔の親ですか
ら私に接するときは殊の
ほかきびしく、また、や
さしい時はひどい肌
をこすってのキンシップ
を覚えてくれました。かわ
らぬ時はいつも怒り

子育ては親の思う通り
にやってもいいかなんか思
う頃が、私にもありまし
た。親は子どもが路線が
らみを出したとき、口
をきかせるしがないので
すが、ひどく多量の子
供を産んでおられること
が、お母さんの心なごこ
ちが、私に思いますが、笑
顔で接して下さいます。
これからは先住方お体の
ほう大切にしてください
ます。

私に教習相談に何回電
話したかしら。いつも本
気に接して下さった先生
方に感謝しております。

『やんちゃな』読後

中下 美智子

私は、最初、心に包帯を
巻いて、この問題は、い
の意味が込められているの
だろうか、とみました。そ
れは、傷ついたら、誰かに
助けを求め、手言をきいて
もらうことや、傷ついたら
誰かをきくこと、は、ど
いような意味が込められて
ました。悩みを聞いてもら
いたくても、言えなくて
つらかった中、聞かなくて
、時には断えられずに自
殺して行く人がいる。は、
悩みが癒えなくても、体全
体でひたひたのまのこいる
からだ、そして、悩みを
聞いてほしかった。思
った。私にこの相談所は、
いつでも行って、何にも
を聞いてくれて、ア、バイ
ス、と、と、と、と、と、
思いました。

相談ネットワーク設立10周年 記念講演会

とき

2000年10月29日(日)

講師

立命館大学教授

高垣 忠一郎さん

高垣先生は、難波さんの『心に包帯をまいて』に推薦文を書いて下さった方です。

主な著書

- 『思春期の心理』あゆみ出版
- 『揺れつ戻りつ思春期の峠』新日本出版社
- 『登校拒否 不登校をめくって』青木書店
- 『いじめと登校拒否』かもがわ出版
- 『子どもの心を聴く』法政出版

会場・時間などは未定です。
決まりしだいお知らせします。

おことわり

当初は従来通り八月末を考えていましたが、講師のご都合(外国留学)もあつたりして延期しました。
したがって、総会も当日ということにいたします。ご了承ください。



くろつして育てた子どもが、つとも親の思うようにならない。
なんとかならないか。こんな相談がたくさんあります。
しかし、しかし、それでいいのですか。

読んでください!

ネットワークの歴史がわかる

『相談ネットワーク通信』

復刻版



ホッとして書いた
子どもの手記
お母さんの
悩み・喜び
等々
多彩な記事が
いっぱい

頒 価

1,000円

申 込 先

◎子育て・教育なんでも相談ネットワーク
TEL・FAX 086-226-0110

◎新岡山書籍
TEL・FAX 086-275-0984